



諫高だより

ふじ むらさき  
藤 紫長崎県立諫早高等学校  
〒854-0014 諫早市東小路町1番7号  
TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104  
<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

## 失敗を恐れるな

校長 石部 邦昭

### 金・銀・銅のメダル独占

今年北京五輪の年である。五輪と言えば私にとって印象深い人がある。埼玉の砲丸作りの名人辻谷政久氏である。先年彼の講演を聴く機会に恵まれた。最初は「町工場のおやじさん」という感じでみていたが、聞いてびっくり。その偉業とは「彼が作った砲丸がアトランタ・シドニー・アテネの五輪で金・銀・銅の選手が全員使った」というのだ。

五輪の砲丸投げは、自分専用の砲丸は持ち込めず大会側の用意した数種類の砲丸の中から選択して競技に臨む。選手は手触り、投げやすさなどを試技の段階で確かめ選択する。そして全てのメダリストが選んだ砲丸が辻谷製だったというのだ。

砲丸は鋳物で材質はFC200と呼ばれる鉄である。砲丸は作り方が難しく、ミクロの世界で季節の温度や湿度でも作り方が変わっていく。

年間3000個ほどを作り、揃ってメダリストに愛用される彼の砲丸とはどんなものか。

彼が最も気をつけるのは「正確な重心を出すこと」。そのためには、すべて手作業でやらなければならない。長年の経験を生かして、削る量や範囲を「音・表面のツヤ・手に感じる圧力」などで判断する。まさに職人技の世界である。

### 自分は金のためにやっているんじゃない

今や“砲丸作りのプロ”と呼ばれる辻谷氏だが、もともとは、父親が経営していた自動車部品工場を手伝っていた。その後独立。アウトドアブームがくるとして「テント作り」、次にゴルフブームがくるとしてゴルフクラブの「アイアンヘッドをステンレス」にしたり、テニスブームがくるとしてテニスラケットを「木製からスチール製」に変えた。いずれも目の付け所が良くヒット作となったが、やがて大手企業が参入し、一町工場では立ちゆかなくなった。そうしたときに東京のスポーツメーカーから陸上競技に使うハードルの注文が舞い込んだ。自らも陸上競技をやっていたほど、スポーツ好きだった辻谷氏は二つ返事で引き受け、本格的に陸上競技用の用具を生産するようになった。そして、会社が軌道にのった頃出会ったのが“砲丸”だったのだ。当時は規格も甘くただの鉄のかたまりでしかなかった。それから30年。改良を重ね今や“砲丸作りの第一人者、メダリスト総なめ”とまでになった。辻谷砲丸は高く評価され、アメリカのトップメーカーから技術指導を依頼されたり有力選手、大手企業から破格の待遇で誘われたが、「自分は金のためにやっているんじゃない」として、頑として首を縦に振らなかった。

### 失敗を恐れるな

辻谷氏の講演の中で私が最も印象に残ったのは「失敗を恐れるな」という言葉である。砲丸を作っていく過程で大量の不良品が出たが、彼は気にせず「人間のやることだから誰にでも出来るはず」と徹底的に物事を追求した。

そう言えば2002年にノーベル化学賞を取った田中耕一氏も「未知への挑戦は必ず失敗する。失敗は決して恥ずかしいことではない。失敗は自分が無知だったことを教えてくれる。失敗から目をそらさなければ成長の糧とすることができる。自分を信じてまた挑戦すれば良いのだ」と言っている。彼の世紀の大発見は何度も試み失敗を重ね、しかし、あきらめず粘り強く取り組んだ結果なのである。

2万7000人が参加した先日の東京マラソン。大都会東京の街で颯爽と日本人1位で駆け抜けた若者が、諫高第52回卒の藤原新選手（JR東日本）だ。北京五輪代表選考会であったため、翌日の新聞は「新星現る」との文字が大きく躍った。そばに書いてある「諫高出身」が誇らしげに見える。本校陸上部の選手として、黙々と諫早運動公園で走り込み、地道に基礎体力を養い、大学、社会人と着実に力を付けていった藤原選手。失敗を恐れず、失敗を糧にして自分を信じて挑戦した若者。

「磨き上げた諫高魂」で北京を快走」。夢は大きく膨らんでいく。

# 「仕事」って…楽しいですか？

## 2年総合「社会人講演会」

2年普通科生徒の「総合的な学習の時間」の3学期の活動として毎年行っている「社会人講演会」が2月19日（火）午後、教室・視聴覚室を会場に実施されました。

「自己実現に向けて」というテーマで、仕事のやり甲斐や難しさなどを考えるという目的で、講師として今年は理学療法士や新聞記者、企業取締役など5名の社会人の方に依頼、生徒にも希望を取って5つのグループに分け講演をいただきました。約70分の予定を大幅に越え熱い講演会になったグループもあり、「自分が思っていたイメージと実際の仕事内容が全然違った」という生徒も多数いて、自分の進路について再度考えてみるいい機会にして欲しいと思います。



↑ソニー西田和晃氏(本校OB)



←質問に答える瀬在丸さん

### 講師一覧 —社会人講演会—

- A. 松尾忠浩さん  
(有限会社「かわた」専務取締役)
- C. 田口洋一さん  
(読売新聞西武本社諫早通信部記者)
- D. 西田和晃さん  
(ソニー長崎テクノロジーセンター)
- E. 瀬在丸若葉さん  
(愛野記念病院理学療法士)
- F. 吉川 博さん  
(吉川技術士事務所所長)

# これが論文だ!!

～小論文講演会～

2月16日（土）に土曜学習会の1時間を使って1・2年生を対象にCDA（小論文）講演会が開かれました。講師に（株）ベネッセコーポレーションで高校の小論文教材を担当している渡辺健太氏(28)を招いて学年別を実施されました。

諫早高校では1年次から「理解」「発見」「志」(C・D・A)学習という

名称で小論文学習を実施している。今回の小論文講演会もその活動の一環である。「自分の考えをまとめ、それを伝える力」は大学受験とその先にある一般社会で求められる資質であり、その資質を武器に本校を卒業していろいろな方面で活躍してもらいたいと思います。

←お礼の言葉を述べる平山春紀君(2-5)



←論文のノウハウを熱弁する渡辺氏



# 激走！マラソン大会

2月12日（火）県立諫早運動公園周回コースにて第44回校内マラソン大会が実施されました。「寒さに打ち勝つ強靱な体力と苦しさを乗り越える粘り強い精神力を養い、クラスの団結力を高める」という目的のもと、男子は周回コース3周（約9km）、女子は1周（約4.2km）を1・2年生が快走・激走しました。



↑総合優勝の2年6組

当日は時々晴れ間が見える程度の天気です。肌寒く、マラソンには絶好のコンディションの中、本校陸上部監督の松元先生から専門的かつ緻密なウォーミングアップ指導を受け、元気に出走。



苦しさを乗り越え一回り成長した諫高生の笑顔が印象的でした。



## 結果報告

陸上部の部（上段：男子 下段：女子）

順位	クラス	名前	記録
1位	1-6	茅原祐也	27分55秒
2位	1-4	寺田夏生	27分59秒
3位	2-3	小嶺篤志	28分00秒
順位	クラス	名前	記録
1位	1-2	末吉 茜	13分08秒
2位	2-3	林田詩緒里	13分11秒
3位	2-2	濱崎啓江	13分13秒

一般の部（男子）

順位	クラス	名前	記録
1位	1-5	黒田竜之介	30分18秒
2位	1-6	澤村健太	31分58秒
3位	2-3	末次 晃	32分06秒
4位	2-6	吉田裕次郎	32分17秒
5位	2-1	今里大樹	32分19秒
6位	2-3	山脇崇嗣	32分33秒
7位	2-8	田副寛太郎	33分23秒
8位	1-1	酒井宏輝	33分31秒
9位	1-8	横田衛己	33分38秒
10位	1-3	松永悠聖	33分41秒



総合（クラス対抗）の部

順位	クラス	点数
1位	2年6組	94, 65点
2位	1年5組	99, 43点
3位	2年1組	111, 50点

みなさん、お疲れ様でした☆

一般の部（女子）

順位	クラス	名前	記録
1位	1-6	岩崎歩美	15分52秒
2位	2-7	内藤綾乃	16分14秒
3位	1-5	松尾 樹	16分18秒
4位	2-8	中多小百合	16分24秒
5位	2-4	榎嶋公子	16分25秒
6位	2-8	上谷実可子	16分27秒
7位	2-1	松永麻美	16分28秒
8位	1-1	松尾 祐弥	16分48秒
9位	1-1	和田知美	16分49秒
10位	2-7	安本季愛	16分55秒

# 1年間の集大成

—理数科課題研究発表会—

1・2年理数科生徒の校内課題研究発表会が、2年生は1月17日（木）に、1年生は1月23日（水）に本校視聴覚教室にて実施されました。本校理数科生徒の1年間の課題研究活動を、1班約10分程度の発表時間にまとめ、1日を使っての発表会であり、各学年で最優秀賞を取った班は6月に行われる長崎県理数科課題研究発表会に出場することになっています。



↑ロボットの実演をする様子

## 1年成績

—課題研究発表会—

**最優秀賞** 生物班「ペーパーマッシュルーム」

荒木桂子・松田和紗・淵上 彩・村上佳子

**優秀賞** 生物班「ニワトリ卵の卵殻外発生」

澤田詩朗・大石浩二・沢見康輔・田中 州

## 2年成績

**最優秀賞** 生物班「ウツボカヅラの消化作用」

上谷実可子・米倉千紘・中多小百合・西村美咲

**優秀賞** 生物班「ヒゴタイの組織培養」

吉野早紀・荒木杏子・前田百合恵・松井由香・向井郁乃

## 「各種大会表彰」

### <美術部>

平成19年度長崎県高等学校

総合文化祭美術展

◎優秀賞 峰 多可子 (3-1)

◎優秀賞 田中 真子 (2-1)

◎優秀賞 中道乃莉子 (2-4)

(全国大会出展決定)

◎優秀賞 高以来 優 (1-8)

○優良賞 古川 恵子 (2-4)

○優良賞 大城 咲 (1-6)

●入 選 増田 愛菜 (2-2)

●入 選 松竹 未樹 (2-5)

### <卓球部>

第42回諫早市卓球協会長杯卓球大会

女子A級 第3位

### <バスケットボール部>

第19回諫早協会杯バスケットボール大会

第2位

### <陸上部>

県下一周駅伝 (2月15日～2月17日)

MVP: 小嶺篤志 (2-3)、浦川有梨奈 (3-3)

区間賞: 山田 晃成 (3-5)、小嶺 篤志 (2-3)、

茅原 祐也 (1-6)、寺田 夏生 (1-4)、

浦川有梨奈 (3-3)、林田詩緒里 (2-3)

### <2月・3月の主な行事>

2/～29(金) 学年末考査

3/ 1(土) **第60回卒業式**

3(月) 早朝学習会開始

8(土) 2年:模試 1年:スタディーサポート

9(日) 2年:模試

11～12(水) 高校入試

15(土) 土曜学習会 進路講演会

16(日) **第9回文化部合同祭**

17(月) クラスマッチ

22(土) 土曜学習会

24(月) 終業式・離任任式

